

設計課題「趣味(フラワーアレンジメント)室のある専用住宅」(木造2階建)

1. 設計条件

・妻の趣味であるフラワーアレンジメント専用の趣味室のある専用住宅を計画する。計画にあたっては、次の ~ に留意する事。

趣味室には専用の湯沸室と収納を設ける。

趣味室は居間と隣接させて行き来出来るようにする。

将来的に二世帯住宅とする予定なので趣味室を夫婦の寝室として利用する。また、1階はその時のことを考慮して高齢者に配慮した設計とする事。

(1)敷地

ア. 形状、道路との関係、方位等は下図の通りである。

イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。

ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。

エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ. 電気、都市ガス、上水道及び下水道は完備している。

(2)構造及び階数

木造2階建とする。

(3)延べ面積

130m<sup>2</sup>以上、170m<sup>2</sup>以下とする。

(ピロティ、玄関ポーチ、駐車スペース、駐輪スペース等は床面積に算入しない。)

(4)家族構成

親夫婦(50歳代)、子供2人(男子大学生、女子高校生)

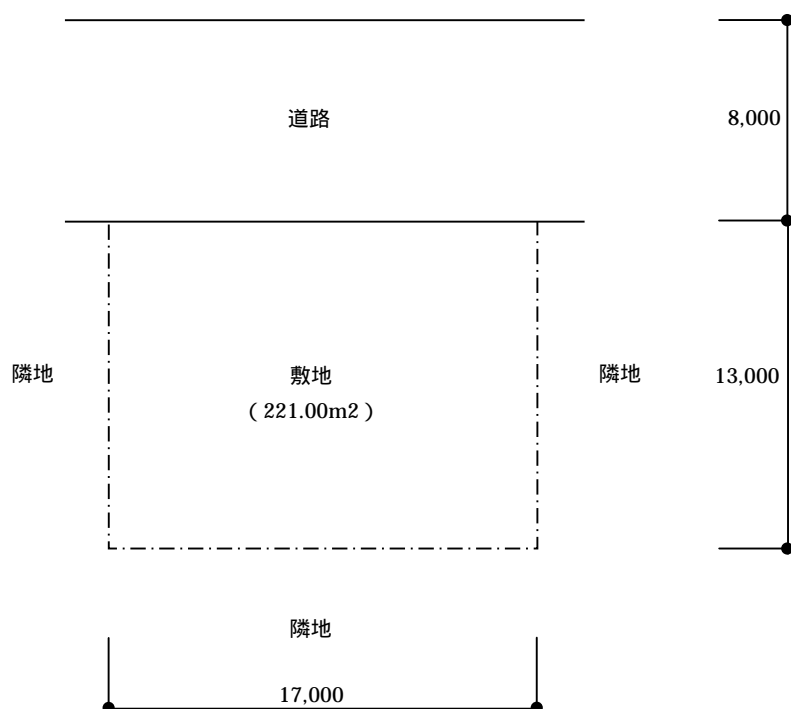
(5)要求室

下記の所要室は、全て計画する。

		特記事項
玄関ホール	1階	
居間	1階	ア.洋室16m <sup>2</sup> 以上とする。 イ.趣味室に隣接させて直接行き来出来るようにする。
台所・食事室	1階	ア.洋室16m <sup>2</sup> 以上とする。
	1階	イ.対面キッチンとする
	1階	ウ.居間と直接行き来出来るようにする。
趣味室	1階	ア.洋室13m <sup>2</sup> 以上とする。
	1階	イ.その他に湯沸室(3m <sup>2</sup> 以上)と物入(3m <sup>2</sup> 以上)を設ける。
便所	1階	・広さは、芯々1,365×1,365mm以上とする。
浴室	1階	・3m <sup>2</sup> 以上とする。
洗面脱衣室	1階	・3m <sup>2</sup> 以上とする。
夫婦室	2階	・洋室19m <sup>2</sup> 以上とし、その他に収納を設ける。
子供室(2室)	2階	・洋室9m <sup>2</sup> 以上とし、その他に収納を設ける。
便所	2階	・広さは芯々1,365×1,365mm以上とする。
納戸	2階	・洋室4m <sup>2</sup> 以上とする。
・1階の廊下の幅は芯々1,365mm以上とする。		

(6)駐車スペース

敷地内に小型乗用車(5人乗り)1台分と来客用にもう1台分(計2台分)の屋外駐車スペースを設ける。



2. 建築物

a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は枠外にはみ出して記入してもよい。

b. 図面は黒鉛筆仕上げとする。(定規を用いなくてもよい。)

c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛りは4.55mm(矩計図にあつては、10mm)である。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ. 1階平面図兼配置図に門、塀、植栽、駐車スペース等を記入する。
(2)2階平面図 (1/100)	ウ. 室名を記入する。 エ. 台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。 オ. 趣味室に、作業台(L1800×W900)を記入し、湯沸室にミニキッチンを設ける。 カ. 「通し柱」を印で囲み、「耐力壁」に印を付ける。 (注)「耐力壁」とは筋カイ等を設けた構造上有効な壁をいう。 キ. 2階平面図に、1階屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 ク. 矩計図の切断位置を記入する。
(3)2階床伏図兼1階小屋伏図 (1/100)	ア. 2階床伏図には胴差、床梁、2階根太等の名称及断面寸法を記入する。 イ. 通し柱、1階の管柱、2階の管柱の位置及寸法を記入する。 ウ. 1階小屋伏図の軒桁、小屋梁、小屋束もや、たるきの名称及断面寸法を記入する。 エ. 小屋伏図には軒出及びその寸法を明示する。 オ. 2階床伏図、1階小屋伏図にはそれぞれ火打ち梁を記入する。
(4)矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、平屋部分とし、開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は柱芯から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、柱、大引き、1階根太、胴差、2階床ばり、2階根太、けた、小屋ばり、もや、たるき)の名称・断面寸法を記入する。 カ. 床下換気口の位置・名称を記入する。 キ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 ク. 外気に接している次の部分の断熱措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ. 室名及び内外の主要な部分(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上げ材料名を記入する。
(5)面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 数値は小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

3. その他

次の試験については、上記のほか、下記による。

北海道の試験

(1)設計条件

北海道の気象条件に合うような防寒構造とする。

(2)要求図書の特記事項

ア. 平面図に、暖房設備の方式又は機器を記入する。

イ. 矩計図に 想定した凍結深度 基礎の凍上防止措置 壁、天井、床等の断熱、防湿等の防寒措置を記入する。

図面には必ず、住所・氏名・メールアドレスを記載すること。

添削締切8月2日消印有効です。速達で送らなくても結構です。

4つ折角2号封筒程度でお送りください。